

公益社団法人 日本フィットネス協会
フィットネスダンスフェスティバル実施にあたって

経緯：

- ① JAF A の創立15周年記念事業として平成14年9月に「第一回フィットネスダンス全国大会」を開催。
- ② 平成16年6月の臨時理事会において、宮下充正（現顧問）先生より各地のJAF A 代議員に“フィットネスダンス”を普及してもらうため「フィットネスダンスフェスティバル」の開催助成を決定。

助成額： 50,000円 ～ 100,000円

※開催日を前期（4月～10月）と後期（11月～3月）に分けて、それぞれ2会場に対して開催助成金を給付。ただし各期間に複数の申請があった場合は初開催を優先。また、開催実績がある場合の複数申請については申請順、開催数、イベント内容（FD普及員養成4時間セミナー併催）等を考慮して決定する。

助成を受けるための必要条件：

1. フェスティバル開催の県または市区町村が主催、もしくはJAF A 代議員（理事）を中心とした実行委員会の主催であること。
2. 地方自治体（市区町村）の共催、後援、協力のいずれかを心得て実施する事業であること。
3. 地域住民、一般市民の参加型フェスティバルを中心とすること。
4. 助成金 振り込みのため実行委員会名の口座を設定すること。
5. 後援 公益社団法人日本フィットネス協会 と印刷物に含めること。なお、可能であれば、フィットネスダンスのロゴも含めること（ロゴは、JAF A からデータを提供します。）
6. フェスティバルの開催がJAF A の助成を受けて実施されることを印刷物および、挨拶等に含めること。
7. 申請時に開催要項及び収支予算書を、実施後に事業報告書及び収支決算書を提出すること。

JAF A が手伝えること：

1. 開催県のJAF A 会員へ、実行委員会への参加を呼び掛ける案内の送付
（案内文は実行委員会で用意）→ 開催日の約3ヶ月前
2. GFI 継続教育単位をフェスティバルに付与（申請料免除）
※単位数は開催時間数によって変わります。
→ 所定の申請書類をJAF A へ提出する（開催約2ヶ月前）
→ 単位取得を希望する者は、当日簡単な[アンケート/レポート（定型のもの）](#)を記入し、提出するのと引き換えに「GFI 教育単位取得証明書」を配布すること。
3. 開催県のJAF A 会員、GFI 資格保有者へフェスティバル参加募集の告知チラシを送付
（実行委員会が作成した告知チラシを協会から開催県のJAF A 会員・GFI 有資格者へ発送します。）
→ 開催日の2ヶ月前
4. 実行委員会へフェスティバル用バナー等の送付（デザイン、サイズは統一されたもの。会場内に掲示すること。）
5. 初開催の場合は、後援関係者1名（JAF A 事務局または、理事等）の往復交通費を支給
なお、理事が実技指導や講演を担当する場合、謝金は実行委員会で用意してください。



フィットネスダンスフェスティバル開催までの手順

3ヶ月前以上

代議員及び地域自治体を中心にフェスティバル実行委員会の立ち上げ、開催希望日及び会場決定する。



JAF A に開催日を連絡、助成実施要領を取り寄せる

助成実施要領・当日のスケジュール・実行委員会名簿等を JAF A へ通知



本部から派遣を希望する理事、関係者の申請

(JAF A 事務局で該当者と連絡の上、調整)



GFI 単位申請書類を取り寄せ、JAF A へ単位を申請



4週間前

地域 JAF A 会員、GFI 有資格者に委員会参加の呼びかけ、当日の協力などを呼びかける案内文を作成し、JAF A へ原本を送付→JAF A から当該県の JAF A 会員、GFI 有資格者へ発送



2ヶ月前

フェスティバルの案内を作成し(単位の表記を含めたもの)、JAF A へ原本を送付 → JAF A から当該県の会員、GFI 資格者へ発送



地域において参加者を募集



10日前

必要な備品等を JAF A 事務局と相談



フェスティバル当日 : 記録写真の撮影、単位証明書の配布



終了後10日以内に、経費清算書と実施報告書を JAF A へ送付、バナー類の返送及び実施報告レポートを提出

その他、機関紙「ヘルスネットワーク」への寄稿を依頼することがあります。

その他 :

- 助成金はフェスティバル開催日1ヶ月前までに指定の口座に振り込まれます。
- 「フェスティバルバナー」「教育単位取得証明書」と「アンケート/レポート」は大会2日前までに送付します。
- フェスティバルは、参加料を徴収してもかまいません。また有料講習会を併催してもかまいません。
- 地域の協賛スポンサーをつけてもかまいません。(JAF A 事務局へご報告をお願いいたします)

